

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記 者 発 表 資 料 平 成 2 0 年 8 月 3 1 日 教 育 委 員 会 事 務 局 学 校 教 育 部 小 中 学 校 教 育 課 長 入 内 嶋 周 一 T E L 6 7 1 - 3 2 3 3

※本日、12時まで自席待機しています。

市立小学校におけるUSBメモリーの紛失について

8月30日（土）11時ごろ、市立小学校（鶴見区）の教諭が友人との飲食中に財布の紛失に気がつきました。財布の中には、児童の個人情報が入ったUSBメモリーが入っていました。現在のところ、紛失した財布は見つかっていません。

1 紛失した個人情報（個人持ちUSBメモリー）

- ・ 学級名簿（男子19名、女子17名分、児童名、住所、電話番号が記載）
- ・ 学級の「あゆみ」の下書きの一部（学習面や生活面の所見）

2 関係校及び当該教諭

横浜市立獅子ヶ谷小学校 校長 関森治夫 （児童数：753名、教職員数：33名）

住 所 横浜市鶴見区獅子ヶ谷 1-19-1

当該教諭 3年担任 20代女性

3 経過

8月29日（金）午後6時に財布の中にUSBを入れて、職員室を退室。

8月30日（土）午前11時、友人とともに飲食中に財布の紛失に気づき、登戸駅前交番に紛失届を提出。

（今後、保護者への謝罪の予定。）

4 原因

- 当該教諭の個人情報を取り扱う際の意識が甘く、管理が不十分であった。
- 「個人情報の取扱いに関するガイド」に基づいた扱いがされていなかった。

5 今後の対応

- 教職員の個人情報に対する意識を高め、情報管理の在り方を再確認するなど個人情報の取扱いの一層の徹底を図るために、継続的な研修を実施します。
- 今後、個人情報の入っているUSBの持ち出しについては、「個人情報の取扱いに関するガイド」に従い、管理職への申し出を徹底させます。